

A8498 東京メトロ9000系・リニューアル 6両セット

再生産



予価：¥29,260 (本体価格 ¥26,600)

対象年齢14歳以上

商品形態

Nゲージ塗装済完成品 (主素材：ABS樹脂製)

ブックケース入 (カートン入数：12)

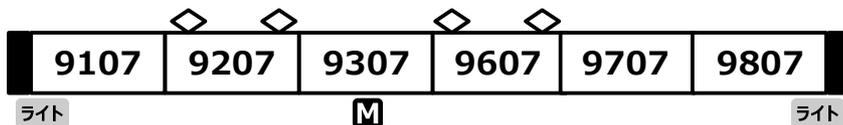
実車紹介

1991年、営団地下鉄(現：東京メトロ)は南北線開業用として9000系を登場させました。東西線用05系をベースにATOによるワンマン運転とホームドアに対応した設備を持っています。機器搭載のために運転室を拡大、先頭車の全長が伸びたほか、運転士の視野拡大のために前面窓が側面に回りこんだ形状でデザインされました。押出型材を多用したアルミ合金製車体にはラインカラーのエメラルドグリーン帯のステッカーが貼られています。南北線の急勾配・急曲線区間対応のために高出力化が図られ、営団地下鉄では初めてVVVFインバータ制御が採用されました。

1996年には四ツ谷延伸開業用としてマイナーチェンジされたグループが登場しました。登場以来4両編成だった9000系は6両編成に組換えが行われ、既存車両のみで組成された編成、既存先頭車と新造中間車を組み合わせた編成、新造車だけの編成と、バリエーション豊かな陣容になりました。2000年の目黒延伸開業の際には東急線との直通運転に対応し、既存の車両も含めて全車側面に行先表示器が設置されました。製品は1次車を組み替えて組成された6両編成で、幅の狭い妻面貫通路や9300・9700の屋根上に設置されたアンテナ台座などの特徴があります。

2016年からは修繕工事が開始され、外観では前面下部にスカート設置、車体帯デザイン変更、空調室外機の交換などの変化が生じました。現在も東京メトロ南北線、埼玉高速鉄道線、東急線で活躍を続けています。

編成例



ライト ヘッドライト
テールライト 点灯
前面表示器

M 動力車

商品概要

- マイクロエース私鉄電車シリーズのさらなる充実
- 実車の動向が注目されるA8498(2019年9月出荷)を再生産！
- 東京メトロ南北線で活躍を続ける、修繕工事を受けた6両編成
- 優雅な曲線を描く腰部の帯と、あらたに足された幕板部の帯を的確に再現
- 修繕工事施工にともなって設置されたスカートと交換された空調室外機を専用部品で再現
- 車体と客用扉部分は異なる銀色で塗装仕上げ
- 9207,9307,9607,9707の台車が補強された後の姿

東京地下鉄株式会社商品化申請中



Photo : MA

付属品

行先シール

オプション

室内灯



幅広室内灯

(G0001/G0002/G0003/G0004)

カプラー



マイクロカプラー 自連・グレー (F0004)



株式会社

マイクロエース

TEL : 048-444-2944

FAX : 048-445-3407

製品の仕様・価格は予告なく変更する場合がありますので予めご了承をお願いします
写真の複製・改変・二次使用を禁止します
記載の内容は弊社の調査・見解に基づくものです